

大津市瀬田南公民館自然観察講座

こんぜの里（栗東県民の森）—金勝寺ハイキングコースの秋の草花

江南 和幸

こんぜの里（栗東県民の森）—金勝寺ハイキングコースの秋の草花

2006年10月21日

瀬田南公民館秋の自然観察講座は、今回栗東市の南に広がる金勝山山麓から頂上に広がる、栗東県民の森にて、秋の植物の観察開を行った。参加者は25名であった。山頂付近の金勝寺まで自動車道路が整備されてはいるが、中腹の道の駅にてバスを降り、ハイキングコースをゆっくりと散策し、秋の草花を観察した(写真1)。滋賀県は、北から日本海型植物が進入し、中央部は瀬戸内海気候の影響を受けた植物が生育し、さらに南へ下ると、東海地方の植物群が顔を見せ始める。金勝山付近には、東海型植物である、ヨシノアザミの変種スズカアザミが顔を見せるなど、わずかの地域の違いで植物相が変わることを、手に粘るスズカアザミの苞を触りながら勉強した。また、滋賀県には比較的多いが、京都、大阪では奥山に行かないと見られない、ビャクダン科のツクバネを見つけ、正月の羽つきの羽にそっくりの実を見つけ感心した(写真2)。

付：9月20日、10月7日の下見のおりに見つけた植物リスト

主ク科：アキノキリンソウ、アキノノゲシ、アメリカセンダングサ（茎が細く紫色を帯びる）、オオオナモミ（実にかぎ状の棘があり、衣服に取り付く。ただし外来種。在来種のオナモミは消えつつある）、オタカラコウ、ガンクビソウ、カンサイタンポポ、キクイモ（花びらが13枚以上ならキクイモ、9枚程度ならイヌキクイモ。中間型もある。芋はキクイモのほうが大きい）、キッコウハグマ、コウヤボウキ、コセンダングサ（花はアメリカセンダングサに似て舌状花がないが、茎はやや太く緑色）、コメナモミ、シュウブン

ソウ、スズカアザミ（苞がやや粘るので、よく似たヨシノアザミと区別できる）、セイタカアワダチソウ、セイヨウタンポポ、タカサブロウ、ダンドボロギク（若芽はシュンギクに似た味で食べられる。）、デシバリ、ニガナ、ノコンギク（種子の周囲を冠毛が取り巻く）、ハキダメギク、ヒメムカシヨモギ（外来種だが、いたるところに繁殖）、ヒヨドリバナ、フキ、ベニバナボロギク、ヤクシソウ、ヤブタバコ、ヤマシロギク（イナカギク：舌状花は隙間なくつく）、ヨモギ

キキョウ科：ツリガネニンジン、ツルニンジン

オミナエシ科：オトコエシ（オミナエシに似た白い花。別名敗醤は腐った醤油の臭いによる）

スイカヅラ科：ガマズミ、コックパネウツギ、コバノガマズミ、タニウツギ、ツクパネウツギ、ニワトコ、ムシカリ

アカネ科：アカネ、クチナシ、ツルアリドウシ、ハシカグサ、フタバムグラ、ヘクソカヅラ、ヤエムグラ

オオバコ科：オオバコ

キツネノマゴ科：キツネノマゴ

ゴマノハグサ科：ミゾホオズキ、ミヤマママコナ

ナス科：イヌホオズキ、クコ

シソ科：アキチョウジ、イヌコウジュ（紅紫色花：鋸歯が目立たない。葉表面微毛）、カキドウシ、ヒメジソ（紅紫色花、白色花もある：鋸歯が目立つ）、トウバナ（茎の周りを小さな赤紫の花が密集して取り巻く）

クマツヅラ科：クサギ、ムラサキシキブ、ヤブムラサキ

ムラサキ科：ミズタビラコ

リンドウ科：アケボノソウ、センブリ、ツルリンドウ

モクセイ科：イボタノキ、ヒイラギ

エゴノキ科：エゴノキ

ハイノキ科：クロバイ

カキノキ科：マメガキ、ヤマガキ、カキ（植栽）

ヤブコウジ科：ヤブコウジ

ツツジ科：アクシバ（可愛い赤い実は食べられる）、アセビ（有毒）、イワナシ（初夏の

緑色の実は酸っぱくて美味しい)、ウスギヨウラク、カクミノスノキ (赤黒い実は食べられる)、コバノミツバツツジ、スノキ (黒い実は食べられる)、ナツハゼ (黒紫の実はブルーベリーの仲間で美味しい)、ホツツジ (有毒)、モチツツジ

リョウブ科: リョウブ

ミズキ科: アオキ、ミズキ

セリ科: セリ、ノチドメ

ウコギ科: ウコギ、ウド、コシアブラ、タカノツメ、タラノキ

アカバナ科: アカバナ

ジンチョウゲ科: ガンピ、

キブシ科: キブシ

スミレ科: タチツボスミレ、ニョイスミレ、シハイスミレ (秋の狂い咲きが見られた)

オトギリソウ科: オトギリソウ

ツバキ科: サカキ、チャノキ (ちょうど花が咲き始め。)、ヒサカキ、ヤブツバキ

マタタビ科: サルナシ、マタタビ

ブドウ科: エビヅル、サンカクヅル、ノブドウ、ツタ、ヤブガラシ

クロウメモドキ科: イソノキ

ツリフネソウ科: ツリフネソウ

カエデ科: ウリカエデ、ウリハダカエデ、タカオモミジ、ヤマモミジ (葉が大きく、葉のふちのぎざぎざが粗い)

ミツバウツギ科: ゴンズイ (黒い種子をつつむ赤い鞘が美しい)

ニシキギ科: コマユミ、ツルウメモドキ

モチノキ科: イヌツゲ、ウメモドキ、ソヨゴ、タマミズキ?

ウルシ科: ツタウルシ (猛毒の汁に注意)、ヌルデ、ヤマウルシ、ヤマハゼ

トウダイグサ科: アカメガシワ、エノキグサ、ニシキソウ (外来種のコニシキソウは葉に斑点がある)

ヒメハギ科: ヒメハギ

ミカン科: マツカゼソウ、イヌザンショウ、カラスザンショウ

フウロソウ科: ゲンノショウコ (紅色と白色の花がある)

カタバミ科: カタバミ

マメ科：イタチハギ（クロバナエンジュ：造成地の地固めに各地で植えられた外来種）、クズ、コマツナギ、ナツフジ、ヌスビトハギ（在来種は豆が2つ。これに対し外来種で開く地にはびこるアレチヌスビトハギ一つの鞘には豆が5つ以上入る）、ネコハギ、ネムノキ（秋になると薄い豆の鞘がぶら下がる）、ノアズキ（黄色花）、ノササゲ（黄色花で豆の鞘がきれいな紫色）、フジ、マルバハギ（花が葉の脇に固まり花後が汚いのが欠点）、メドハギ、ヤハズソウ、ヤブマメ（紫花）、ヤブマメ（紫花）、ヤマハギ（花は葉の脇からやや長い柄の先に連なり美しい）

バラ科：ウラジロノキ、ウウミズザクラ、カマツカ、キンミズヒキ、クサイチゴ、クマイチゴ、ダイコンソウ、ナガバモミジイチゴ、ナワシロイチゴ、ニガイチゴ、フユイチゴ、ヘビイチゴ、マルバフユイチゴ（コバノフユイチゴ）、ミヤコイバラ、ヤマザクラ

ユキノシタ科：イワガラミ、ウツギ（ウノハナ）、クサアジサイ、コアジサイ、ノリウツギ、ユキノシタ

クスノキ科：クロモジ、シロダモ

モクレン科：サネカツラ、シキミ、タムシバ、ホオノキ

ツツラフジ科：アオツツラフジ（カミエビ）

アケビ科：アケビ、ミツバアケビ

キンポウゲ科：ウマノアシガタ、センニンソウ、ポタンヅル

ナデシコ科：ハコベ

セマゴボウ科：ヨウシュヤマゴボウ

ヒコ科：イノコツチ、ヤナギイノコツチ（葉が細い）

アカザ科：シロザ

タデ科：イタドリ、イヌタデ、ギンミズヒキ（ミズヒキの白花）、ハナタデ、ボントクタデ、ミズヒキ、ミゾソバ

ビャクダン科：ツクバネ

イラクサ科：アオミズ、カラムシ、アカソ（葉先が三つに分かれる）、コアカソ（根元が木質化）、

クワ科：カナムグラ、クワクサ、コウゾ

ニレ科：エノキ、ケヤキ

ブナ科：アカガシ、アラカシ、ウラジログシ、コナラ、クリ、ツクバネガシ、ミズナラ？

カバノキ科：ヒメヤシャブシ、ヤシャブシ

クルミ科：オニグルミ

ヤマモモ科：ヤマモモ

ヤナギ科：タチヤナギ

ドクダミ科：ドクダミ

ラン科：シュンラン

ショウガ科：ミョウガ

ヤマノイモ科：ヤマノイモ

ヒガンバナ科：ヒガンバナ（すでに花はない）

ユリ科：キチジョウソウ、サルトリイバラ、シオデ、ショウジョウバカマ、チゴユリ、ネジバナ、ノギラン、ホソバジャノヒゲ？ ヤブカンゾウ、ヤマラッキョウ（可愛い紫色の花が特徴。籬の田んぼの畦に咲く。）

ツユクサ科：ツユクサ

カヤツリグサ科：ツルカミカワスゲ、ナキリスゲ、ヤマイ

イネ科：アキメヒシバ（全体に葉が少ない）、アシボソ（ひよろひよろと長く茎を出す）、アブラススキ、イトススキ、エノコログサ、キンエノコロ、コメヒシバ、コブナグサ、ササガヤ（繊細で穂には細い毛がある）、ササクサ（実の先端に二つに分かれた細い針があり、衣服や靴下にまといつく）、ススキ、スズメノヒエ、チカラシバ、チジミザサ、ヌカキビ（穂先が垂れ下がる。よく似たオオクサキビは外来種で、全体に大型、葉鞘に毛がない）、ムラサキエノコロ、メヒシバ（葉の裏、葉鞘に毛が多い）、メリケンカルカヤ（名前の通り外来種）、タナカミザサ（ミヤコザサの地方種で、クマザサと異なり、葉の縁が枯れない美しい葉が特徴。）、ヤダケ

ヒノキ科：ヒノキ

スギ科：スギ（金勝寺の指定名木がある）

コウヤマキ科：コウヤマキ（金勝寺の指定名木：200年以上）

マツ科：アカマツ、ウツクシマツ（県民の森）、モミ

マキ科：イヌマキ

イチョウ科：イチョウ

シダ類：イヌガンソク、イノモトソウ、ウラジロ、オオキジノオシダ、クラマゴケ、ジ

ウモンジシダ、シケシダ、シシガシラ、ゼンマイ、ノキシノブ、ベニシダ、ヘビノネゴ
ザ、フユノハナワラビ、ヤブソテツ、ヤブソテツ、ワラビ

他多数

コケ類：オオミズゴケ、ジャゴケ（ゼニゴケに似ているが、湿った岩上に生える）

他多数



写真1 金勝山ハイキングコースで見つけた秋の色？



写真2 正月の羽つきの羽にそっくりのツクバネの実に感心。